

UOZU VACANT HOUSE UTILIZATION CONTEST

Award-winning work

魚津市 空き家活用コンテスト 2022 応募作品集

魚津市 空き家活用コンテスト 2022

魚津市では、空き家が増加傾向にあり、適正に管理されず周辺に悪影響を及ぼす空き家が社会問題になってきています。この実態を官民で共有し、ともに未来に向けた住みやすい地域環境を創造するため、空き家の利活用を促進する必要があると考え、空き家を活用するアイデアと事例を募集するコンテストを開催いたしました。市では、応募作品のように空き家を利活用される方々をサポートいたしますのでお気軽にご相談ください。

募集期間 > 2022年8月1日(月) ~ 9月30日(金) 応募作品数 > アイデア部門 20点
事例部門 5点

アイデア部門

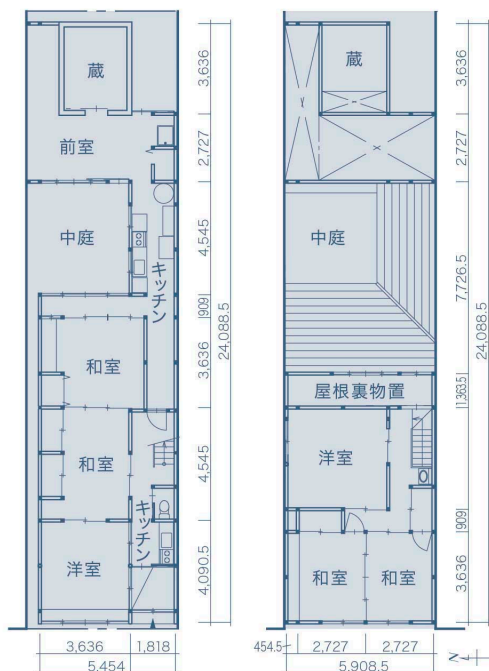
魚津市内に実在する空き家2軒をベースに「空き家を活用して地域を盛り上げたい」「こんな風にしたら面白いかも」「こんな取組や活動をしてみたい」など、空き家を利活用するアイデアを募集。

[例]テレワーク、宿泊、子どもの学習拠点・遊び場 など

ベース物件 ①/魚津市真成寺町

敷地面積：144.36㎡ 構造：木造 2階建て
建築時期：1975年頃 用途：住宅

立地状況：建物が密集した商店街
特徴：間口が狭く奥に長い形状
中庭、蔵、台所2か所、風呂無



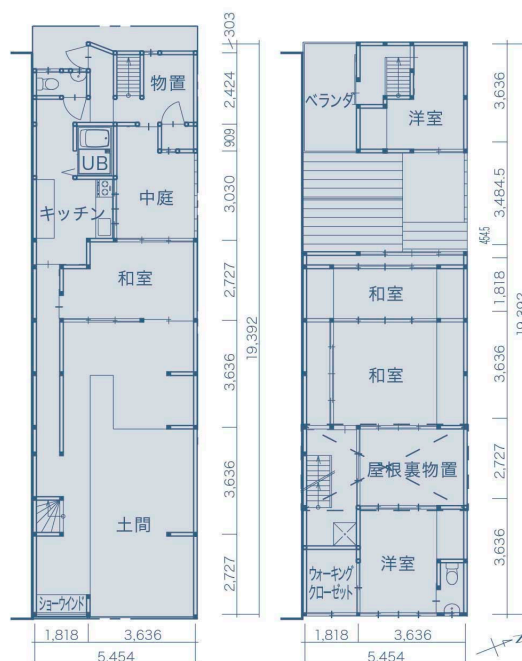
1F

2F

ベース物件 ②/魚津市文化町

敷地面積：115.59㎡ 構造：木造 2階建て
建築時期：1923年頃 用途：店舗併用住宅

立地状況：電鉄魚津駅付近の建物が密集した商店街
特徴：間口が狭く奥に長い形状
中庭、元店舗で土間あり



1F

2F

事例部門

「空き家をこんな風に活用した」「現在、このような活動で使っている」「リフォームして快適に生活している状況」など、魚津市内の空き家を利活用した事例を募集。

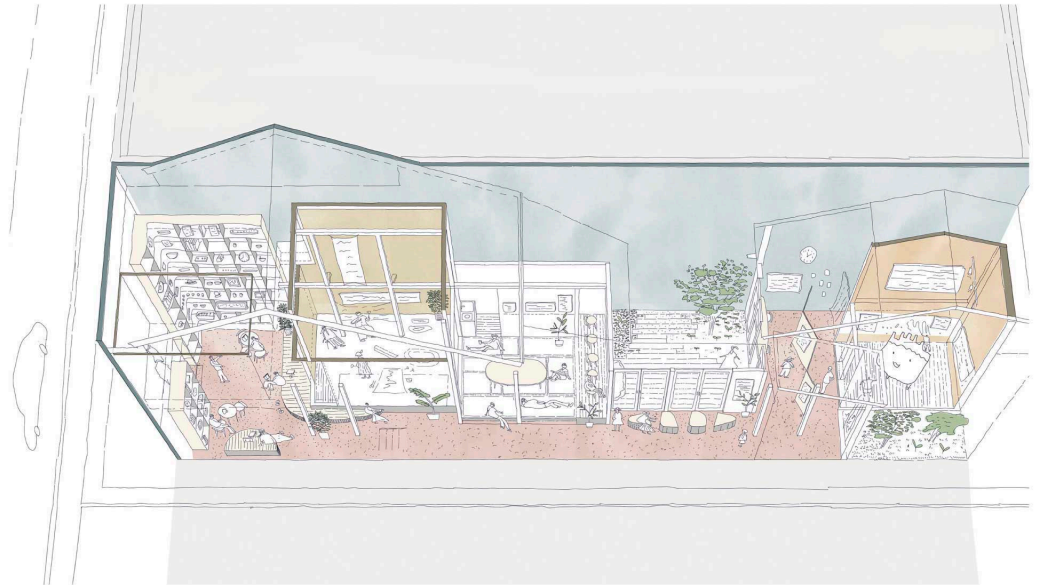
[例]住宅、店舗、ゲストハウス など

物件概要

ベース物件 魚津市真成寺町
用途 ギャラリー
その他 減築により面積縮小

「AKIYA GALLERY」

3つの部屋（インナールーム）と屋根のある外部空間（街の通りから連続する広場）に改装することで、街に開かれ立ち寄りやすく、作品を自由に創作・展示・鑑賞できる「ギャラリー」として提案。



コンセプト

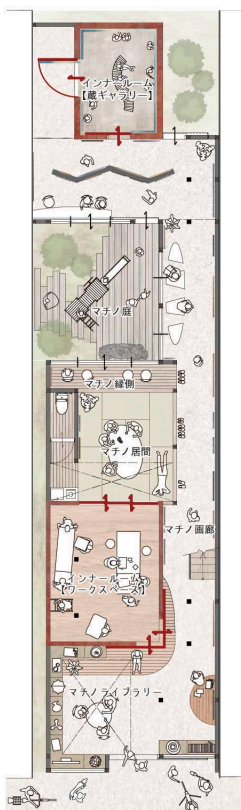
魚津には古くから美術展や市民文化祭などがあり、市民に美術が確実に根付いているので、もっと気軽に美術にふれあえるようにすることで、いままでの街の魅力を掘り起こし、魚津ならではの持続可能な賑わいの空間をつくりだす。点在するひとつひとつの空き家は小さいものの、それぞれを街に広く開かれた空間に変えることで、多様な居場所や出来事が街に広がり、大きな賑わいとなるようにする。

工夫したところ

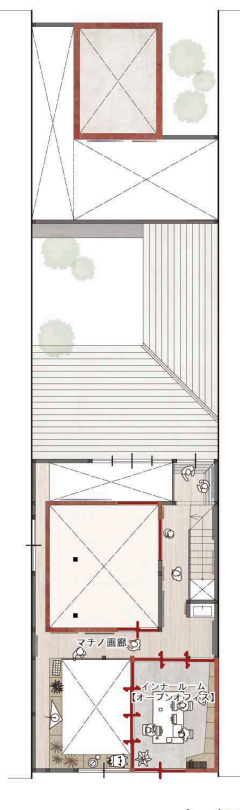
- 街の人がふらっと立ち寄れるよう、通りから連続する広場のようにする
- 風や自然光を感じ取れる居心地良い場所にするため、必要な個所以外を減築
- 全体の改修費を抑えるため、必要な部分をインナールームとして重点的に改修
- 改修した建物が寿命を迎えても、使用した材料を次の空き家の改修に転用することができるよう、改修には標準化された長さの木材を全面的に使用

審査コメント

「まちづくりとアートの親和性の良さに着目した、わくわくするアイデアである」「躯体の改修費用をかけず、そのままの状態をスケルトンとして活用し、その内側に躯体に依存しないパーツ単位で再生が可能なインフィルを活用するアイデア。個別性の高い木造住宅の弱点を克服して標準化した上で、個々の歴史は部材単位で再生していく発想が優れており、またエリアを問わず汎用性が高い」



1F



2F



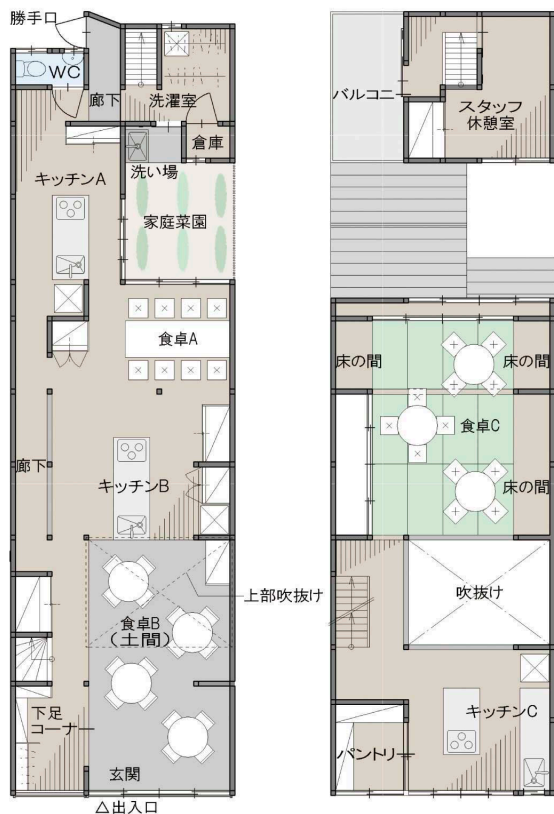
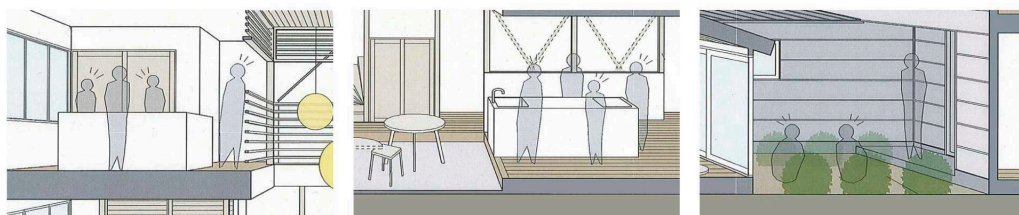
インナールーム

物件概要

ベース物件 魚津市文化町
用途 放課後児童クラブ

「親子で食卓を」

キッチン・食堂を設けることで、親子で食事を共にする時間と場所を提供する「放課後児童クラブ」として提案。



1F

2F

コンセプト

児童は活動の一環として夕食をつくり、迎えに来た親と施設内で一緒に食事をとる、もしくは持ち帰って家庭で食べることで、こどもがひとりで食事をする「孤食」を防ぎ、親の夕食作りの時間の短縮・削減することで、親子団らんの時間に充てることができる。児童はここでの活動で、自立心や喜び、自信を育むことができ、親は子の成長に触れることができる。地域で子育てしていく体制づくりに協力したい。定員超えが予想される既設児童クラブの新たな受け入れ先になりたい。

工夫したところ

- 児童が家庭のような安心感の中で活動できるよう、町家の趣を残し、地域の間伐材などを家具や内装に使用、木のぬくもりや香りがあふれる空間に
- 建物全体で賑わいを感じられるよう、建物中央に吹抜けを設け、開放感と一体感ある空間に
- 学年や発達段階に合わせた活動ができるよう、仕様の異なる3つのキッチンと食卓を設けた
- 大人の目が行き届くよう、壁や建具を極力撤去

審査コメント

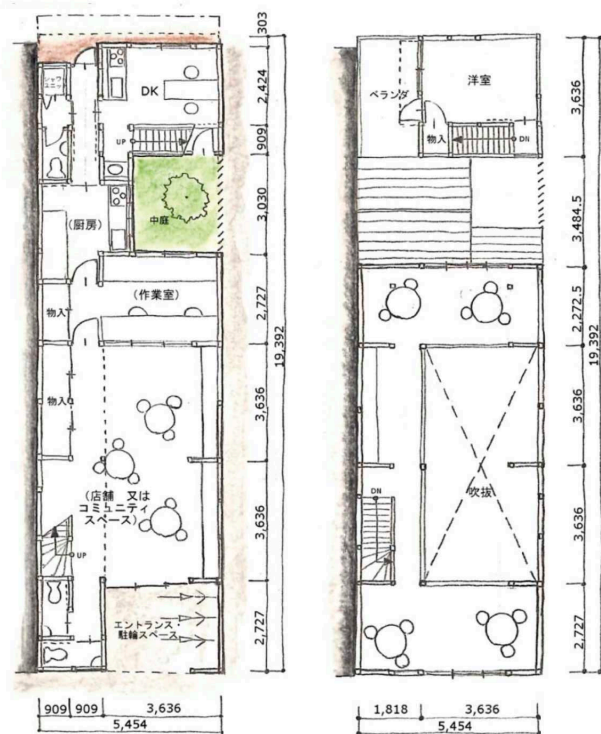
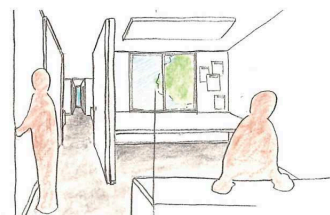
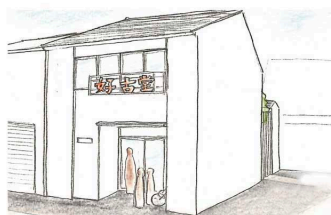
「地域課題を解決しながら、親子で食卓を囲む場を提供するというアイデアが素晴らしい。子どもの数・居住密度も減っている中、空き家だけでなく、増えていく空き地を家庭菜園や遊び場として生かすことで、小さい単位でこどもが集まり生活する場を作り出していくアイデア」「市民が集まりやすいまちの中心部において、繋がりの中でこどもを育てようという提案を、高く評価した」

物件概要

ベース物件 魚津市文化町
用途 UIJターン向け
職住隣接住宅 +
コミュニティスペース

「UIJターン者向 職住隣接住宅と コミュニティスペース」

整備するのは1DKの極小住宅とコミュニティスペース。UIJターンの若者(单身あるいは夫婦)にカフェや塾等の職住隣接住宅として、コミュニティスペースの運営を委託。弱くなった地域の「横糸」を繋ぎとめるために、入居者に「縦糸」になってもらい、地域住民の交流に寄与してもらうよう提案。



コンセプト

入居期間を3年程度とし、この地区が気に入ればその後に近隣空家を改修して正式に移住してもらう。職業という観点、住民という観点からの「お試し」を、この地区の住民の交流を促すきっかけとする。入居するための経済的負担を減じ、居住期間を制限することで、この入居者を起点に地域住民の意識や地区の独自性を掘り起こすきっかけが継続的に提供されることとなる。

工夫したところ

- 地域景観を形成してきた外観は極力変えずに、「概要」に示す考え方に素直に対応できる計画を心がけた
- プライベート⇄セミプライベート⇄パブリックと奥から前面道路に向けて緩やかに連続させた
- 中心となるパブリックスペース(=コミュニティスペース)は大きな吹抜け空間として、圧迫感のない、人が集まりやすい建物とすることを意識した
- 中庭及び通り土間を通じて通風及び採光を十分確保して、奥深い町家にあっても設備機器への負荷を低減して快適な空間となるよう配慮

審査コメント

「コンセプトが明確で、地域に根差した空き家活用となるアイデアであった」
「市民が集まりやすいまちの中心部において、繋がりの中で子どもを育てようという提案を、高く評価した」「住まい手を固定せず、一定期間の後に退去することで、地域に展開していくしかけを含め、地域への波及効果を良く考えている点を高く評価した」

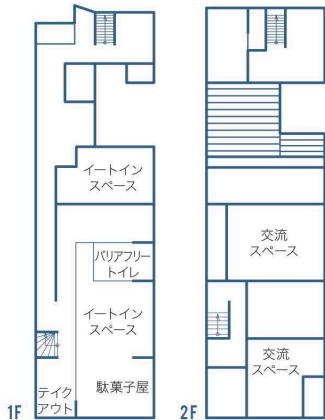
4	アイデア部門	グルテンフリーで健康に	清水 容子
---	--------	-------------	-------

物件概要

ベース物件 魚津市文化町
用途 店舗(健康食品販売)

アイデア概要

米粉たこ焼き、お好み焼きをメインにグルテンフリーや食物アレルギーに対応した食品の販売。イートイン、テイクアウト可。年齢や障がいの有無を問わず利用できる、「健康のため」を重視したお店。看護師から食に関するアドバイスや相談もできる。



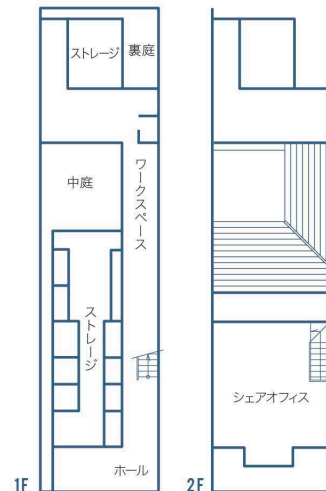
5	アイデア部門	ストレージとして利活用	ホルツ・ビー住工房 青木 健吉
---	--------	-------------	-----------------

物件概要

ベース物件 魚津市真成寺町
用途 倉庫兼事務所

アイデア概要

構造性能を疎かにせず、住みやすい地域づくりの一つの利活用提案としたい」というコンセプトのもと、構造計画が比較的やりやすく、近隣居住者等が利用できるストレージ(収納スペース)として利活用。2階は、主にコワーキングスペースとして利用。



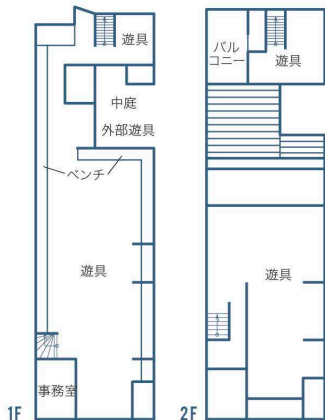
8	アイデア部門	全天候型遊び場	堀田 浩
---	--------	---------	------

物件概要

ベース物件 魚津市文化町
用途 子どもの遊び場

アイデア概要

冬期間や悪天候にも関係なく利用できる新たな遊び場を設けることで、子育て中の家族をサポートする目的のもと、ネット遊具やトランポリン、滑り台などの設備を取り入れ、有料の「オールシーズン利用できる子どもの遊び場」に改装。



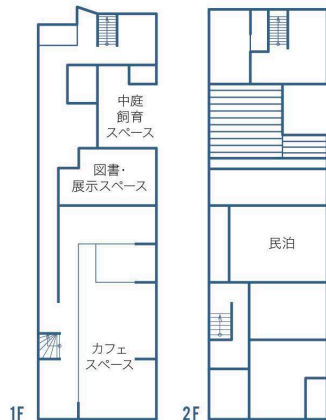
9	アイデア部門	昆虫を軸とした活動	グラリノ アキ
---	--------	-----------	---------

物件概要

ベース物件 魚津市文化町
用途 店舗(虫の家)

アイデア概要

虫を通して四季を感じたり、食物連鎖・生命を考えたりする機会となり得る場を提供。「昆虫食を知る」「生き物との共存のあり方や命を考える場」をつくるほか、カフェ・ワークショップ・民泊・養殖・加工品販売等で利益を確保。



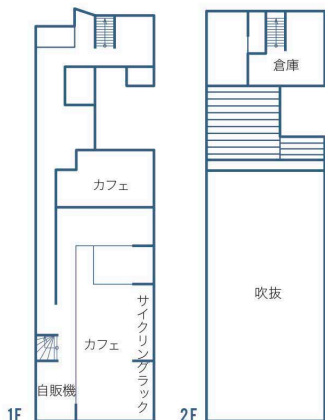
12	アイデア部門	mochi-no駅	松原 祥子
----	--------	-----------	-------

物件概要

ベース物件 魚津市文化町
用途 店舗(ちっちゃな町[もち]の駅)

アイデア概要

「アスリートも地元民も手軽に。ととのう。ちっちゃな町の駅」をテーマに、スポーツ愛好家の回復飯として最適な「餅」を販売するカフェスペース。土間を利用し、自転車用のラックを備え、衣服の汚れを気にせず、快適に休憩することができる。



13	アイデア部門	多目的ハウス	M.O.
----	--------	--------	------

物件概要

ベース物件 魚津市文化町
用途 店舗(多目的ハウス)

アイデア概要

リサイクルショップ、遊びスペース、貸出スペース、(仕事場・保育園などでは得られない)情報交換の場、フードドライブ、お試し店舗などを各部屋で営業。「一つの場所でさまざまなことが一気に行える」「誰もが気軽に利用でき、過ごせる家」がコンセプト。



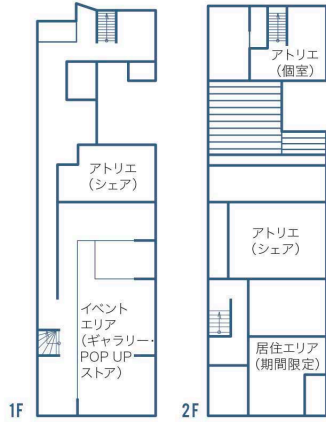
6	アイデア部門	シェアアトリエ	A.M.
---	--------	---------	------

物件概要

ベース物件 魚津市文化町
用途 店舗(シェアアトリエ)

アイデア概要

人とのつながり・交流の場、スペースや材料のシェアといった、誰でも自由にクリエイティブできる場所として「オープンスペース&個室があるモノづくりシェアスペース」「イベントスペース」「アーティストのためのアトリエ兼住居賃貸(期間限定)」を提供。



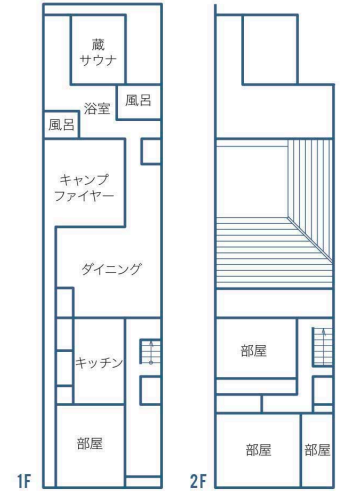
7	アイデア部門	蔵サウナで整える グランピングハウス	堀田 浩
---	--------	--------------------	------

物件概要

ベース物件 魚津市真成寺町
用途 宿泊施設

アイデア概要

複数家族が貸切で使用できるグランピング施設。中庭にキャンプファイヤー、土蔵を改装したサウナや本格的なキッチンのあるダイニングスペースなどを設置。食材等は近隣から賄い、地域住民との交流機会を設けるなど、地域とともに盛り上げる。



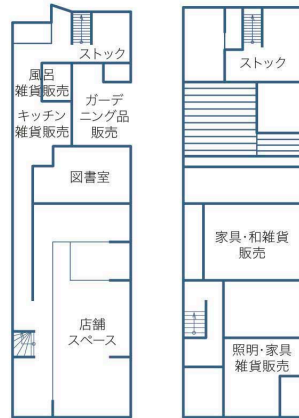
10	アイデア部門	各々を活性化できる集いの場	グアリノ アキ
----	--------	---------------	---------

物件概要

ベース物件 魚津市文化町
用途 店舗(エマウスの家)

アイデア概要

フランスの慈善事業に倣った、集いの場。地域で不要品を回収し、ボランティアがそれを修復し販売、同時に社会に何らかの理由で適合できなくなった方に活動の場を与え、社会参加を促し、ゆくゆくは雇用を生み出すシステム。古く一見不要とされた物への付加価値の提案も。



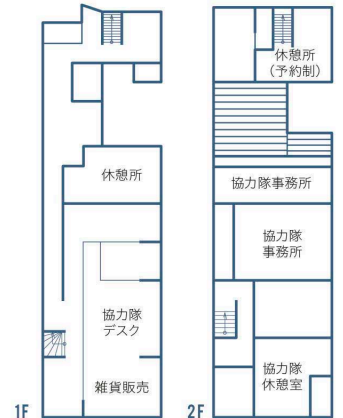
11	アイデア部門	地域協力隊常駐 休憩所	川原田 巧
----	--------	-------------	-------

物件概要

ベース物件 魚津市文化町
用途 地域協力隊事務所兼 雑貨販売&休憩所

アイデア概要

地域協力隊の事務所を兼ねた休憩所と、地域の保存食、駄菓子の販売や喫茶・ゲームコーナーなどを備えたスペース。「文化町へ新たなコミュニティをつくる」をテーマに、地域協力隊が常駐し見守る中で、誰でも安心して集うことができる。



14	アイデア部門	空き家活用のNewVision	北陸職業能力開発大学校 生産電子情報システム技術科 西東 佳祐・高山 良汰朗・嘉指 混介
----	--------	-----------------	---

物件概要

ベース物件 魚津市真成寺町
用途 生産拠点
(食用昆虫飼育販売)

アイデア概要

空き家スペースを活用した食用コオロギなどの飼育、販売を行う。飼育は地域住民と行い、利益を管理費等に還元。人が住む・集う、立地、築年数、多額のリフォーム費用という既存概念に縛られず、来る食糧危機も見据えた未来型のアイデア。

15	アイデア部門	家いじりを楽しむ基地	三浦 一希
----	--------	------------	-------

物件概要

ベース物件 魚津市文化町
用途 基地

アイデア概要

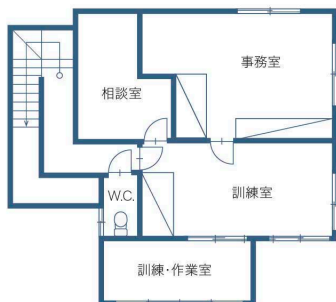
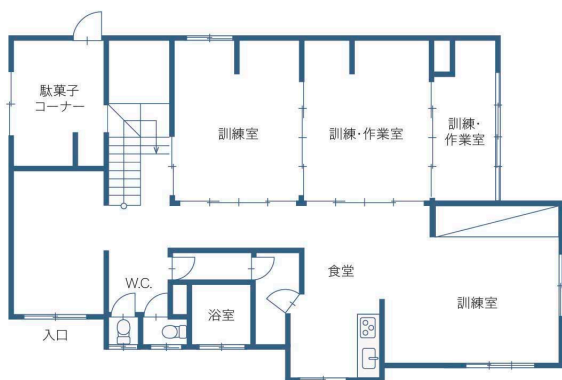
「自ら直し、自ら住まう」ための、体験・学習スペース。引退した大工や左官業者、資材屋、不動産店のアドバイスを受けられるほか、工具や機械を借りることもできる。リフォーム教室やリノベ宅訪問、子どものための工作教室などイベントも開催。



物件概要

所在地	魚津市慶野
敷地面積	199.58㎡
建築時期	1983年頃
構造	木造 2階建て
用途	店舗併用住宅→ 多機能型事業所
改修費用	約5,000,000円

民家が建ち並び交通量も多い
県道沿いで、10年以上空き家の
1階に雑貨売り場スペースを備
えた店舗兼住宅を、重度の障が
いのある方を対象とした生活介
護と児童発達支援、放課後等デ
イサービス支援を行い、既存の
売り場スペースでは駄菓子も販
売する施設に利活用した。



応募者の想い

事業所の利用者や保護者だけでなく、地域住民も困り事等を相談でき、その解決に結びつく活動や働きかけを行っている。

障がいの有無を問わず、赤ちゃんから高齢者まで地域の方々が気軽に入浴りできる開かれた事業所を目指す。

工夫したところ

- 障がいのある方が安心安全に使用しやすいように、障がいのある方も利用できるトイレへの改修や間仕切りの撤去を行い、腐朽していた内装材はこども向けに模様替えをした
- 外壁は、誰の目にもとまるよう黄色に塗替えた
- 事業所職員で、外部の藁の処分や不用品の片付け、大掃除を実施

審査コメント

「1階でお菓子屋さんを運営することで、近隣地域の人々が交流する場を提供する工夫、努力をしている。この点について、一般住宅地の空き家再生の参考とされ、人口減少下でも住宅地でのコミュニティが持続することを期待して、選定した」「本来の活用目的を達成しつつ、地域のこどもたちも訪れるインクルーシブな素晴らしい事例である」

物件概要

所在地	魚津市宮津
敷地面積	180㎡
床面積	1F 180㎡ 2F 84㎡
建築時期	1985年頃
構造	木造 2階建て
用途	住宅→店舗
その他	相談の上購入
改修費用	約29,000,000円

約40年前に建てられ5年ほど空き家になっていた純日本家屋を、みそやジェラートの販売と、シェアキッチン、広い共有スペースをワークショップや食事会、料理教室、地域のイベントなどに活用する施設に活用した。



応募者の想い

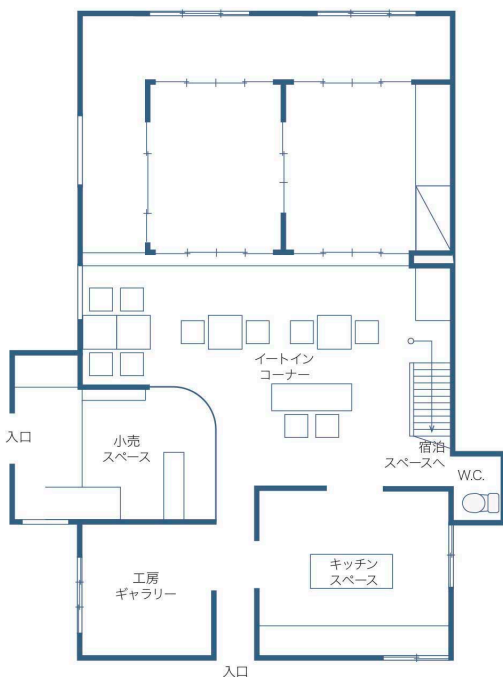
BOBO.(施設名称)は、交流の場であり、協力の場。「やってみたい!」という希望、「困ったな」という課題、その両方をこの場所に集めてみようと思った。希望は一つでも形にできるように、課題は少しでも解消できるように、みんなで力を合わせればできることが見つかるかもしれない。いろいろなものがこのまま、失われていくことは寂しい…きっと“何とかしたい”という思いは、皆どこかに抱えているはず。美味しい食事でも囲みながら会話して、交流する。そんなことができる場所にできたらいいと思っている。

工夫したところ

- 日本家屋の良さを残しつつも現代風のモダンな作りを施した和洋折衷で居心地の良い空間にした
- 様々なシーンで活用していただけるテーブル席と靴を脱いで利用する30畳の畳の部屋を設けた
- コロナ過の影響による足止めを考え抜く時間とらえ、じっくり取り組んだ

審査コメント

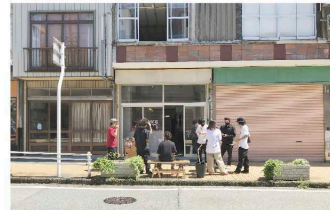
「郊外の空き家を活用し、自社の利益だけでなく地域への還元も考慮した素晴らしい事例」「古民家の持つ建物の歴史と、自身が他で経営していた老舗店舗の歴史を重ね合わせることで、空き家が持っていた物理的な価値だけでなく文化的な価値をも再生・継承する工夫、努力をしている。この点について、建物に歴史的価値がある空き家再生、の参考とされることを期待して選定した」



物件概要

所在地	魚津市中央通り
敷地面積	110㎡
床面積	1F 40㎡ 2F 38㎡ 3F 33㎡
建築時期	1958年頃
構造	防火帯建築の一部 鉄筋コンクリート造 3階建て
用途	住宅→小売店
改修費用	約500,000円

中央通りの防火帯建築の一角で15年ほど空き家になっていた小さな元店舗を、3階までをテナントとして賃貸する施設に改修。1階はスケートボード販売店とギャラリーとして、2階は地域の作家の展示やマーケットイベント、自主製作動画の鑑賞会など様々な企画を行っているイベントスペースとして運営中。



応募者の想い

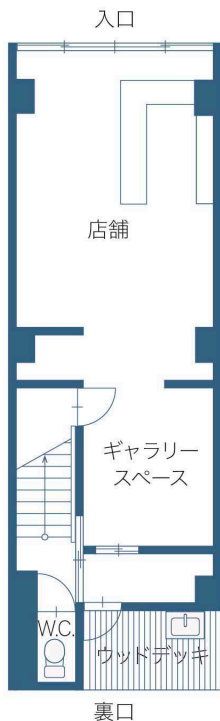
魚津大火からの復興で建設された「防火帯建築」は、地域の中心となる商店街だったが、時代が進み、多くの店舗は空き家となり、街を歩く若者を見かけることも少ない状況である。このリノベーションでは、若者世代を中心に気軽に立ち寄れる拠点、近くの商店主や地域の活性化に関わる人材との出会いの場となるような工夫をした。回遊しながらまちなかに滞在する楽しさを知ることなどを案内できる場所になっている。また、廃材の利用は、環境問題などを含めたこれからのSDGsなライフスタイルについて皆で考えるきっかけとなると考えている。

工夫したところ

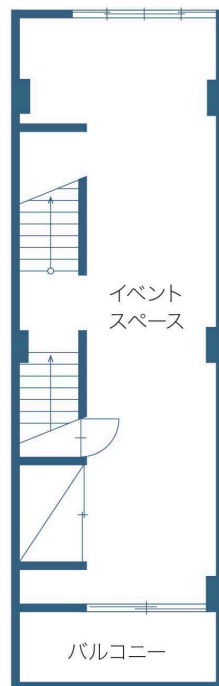
- 廃材を再利用することをテーマに手間と時間をかけて解体し、建物の歴史を感じられる仕上げとした
- 1階の天井を撤去し、2階のコンクリート床の裏側まで見える状態にすることで、間口が狭くても開放的で過ごしやすい空間に仕上げた
- 地域の人やモノの特色をアピールするよう、レジカウンターに魚津の杉の一枚板を、照明に地域のクリエイターの作品を使用
- コスト削減のため、専門家へ委託しないセルフビルドを実施

審査コメント

「商業地域にあって単独テナントでは収支がとれない空きビルを、大学生を活用したDIYリノベによる初期投資の削減と、複数者の共同出資などの手法により、ビジネス性を高める工夫、努力をしている。この点について、商業地での空き家再生の参考とされることを期待して選定した」「大学生と連携し、若い世代が参考となる素晴らしい事例」



1F

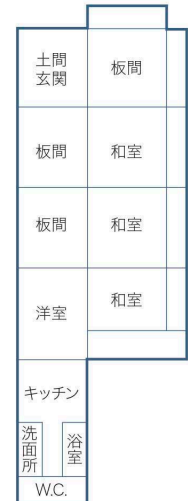


2F

物件概要

所在地	魚津市火の宮
敷地面積	277.85㎡
床面積	1F 165.29㎡ 2F 92.56㎡
建築時期	1911年頃
構造	木造2階建て
用途	住宅→貸し物件
改修費用	約1,700,000円

明治後期に置屋として建てられた古民家を、地域のイベントなどを開催する、会議や展示会、学習場所などいろいろな用途で使用できる貸し建物に改修しました。今後、地域振興につながる使用方法を検討していく。



応募者の想い

この施設の近くには、海の駅や埋没林博物館、KININAL、魚津丸食堂など、年間を通じて人が多く集まる施設があるので、それらの人が地域を回遊することで、結果として地域全体で振興につなげたい。

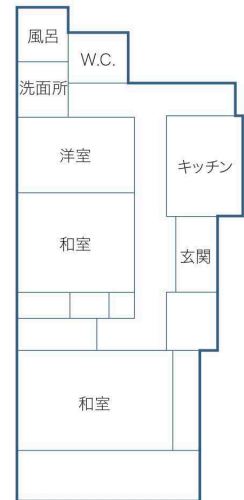
改修したところ

- 床や建具、照明器具などを古民家の雰囲気を残し改修
- トイレや台所回り、電子レンジや冷蔵庫などの家電の整備
- 町内のボランティアで、不用品処分や片付け、大掃除を実施

物件概要

所在地	魚津市山女
敷地面積	452.4㎡
床面積	1F 13.85㎡
建築時期	1975年頃
構造	木造 平屋建て
用途	住宅→移住体験施設
改修費用	約1,242,000円

地域内の28の空き家を調査、比較的状态が良く、宿泊体験施設に合う空き家を選定し改修した。宿泊できる部屋は、3室で最大16名の団体客も利用できる。気軽に利用できるよう、1泊1人3000円とした。地域の自然を満喫できる様々な体験プログラムを用意している。



応募者の想い

この施設で地域の魅力と環境を体験してもらい、移住者を増やすことで地域の活性化を図りたい。

改修したところ

- 改修費用を抑えるため、床や浴室、キッチン、トイレなどの既存設備を有効に活用した
- 利用者が情報を発信できるように、Wi-Fi環境を整備
- 内外装だけでなく、エアコン、テレビ、冷蔵庫も整備

UOZU VACANT HOUSE UTILIZATION CONTEST

Award-winning work

2023年3月 発行

発行/魚津市

〒937-8555 富山県魚津市釈迦堂一丁目10番1号

TEL.0765-23-1031 FAX.0765-23-1066

本紙の無断転載、複製を禁じます。 ©2023 Uozu City Office